

学校長より職員に向けた内容になっています

学校運営の様子を抜粋となりますが、参考までにご覧ください。

職員会議資料(上田市立長小学校) 校長室から⑨ 抜粋

令和6年12月18日

西澤直記

## 一 子どもの姿から



### 地域と学校をつむぐ<長っ子ルーム開設11月と12月>

子ども達も地域の方も双方がウィンウインの関係で楽しめた時間となった。25名(子ども達)と13名(地域の方)との接点となっていた。遊びを通してつながりを紡ぐ活動。第2回目も多数の参加があり子どもたちと地域の方々の笑顔がはじけました。

・将棋・オセロ・幸村カルタ・折り紙・つつけん 5種類の遊びのグループに自然と分かれた。地域で子ども達が歩いたり遊んだりし



ている姿はあまり見なくなった。と聞きますが、こうして学校が地域と子ども達との接点となり、それが子どもたちの大きな成長につながっていくと感じています。「人間は人間の中で育つ」この言葉を思い出します。各学級から人数の配慮をしながら出させていただきありがとうございました。次回の「長っ子ルーム」は1月15日(水)です。



## 二 連絡 その他

(1) 非違行為根絶を! 「長小から非違行為を絶対に  
出さない」自分事として考える・「これくらいなら大丈夫?」が要注意

☆全県では体罰・不適切指導の疑い事案が発生しています。児童生徒からのアンケートや保護者、教職員による聞き取りから発覚しています。それぞれ日常的ないきさつが背景にありますが、長野県では何年も前から教員による暴言も体罰としています。

☆自転車による事故(休日にサイクリングをしていてトンネル内の対抗自転車と正面衝突し複数の歯損傷 人身加害事故 緊急措置義務は果たす) R6.11月より道路交通法改正に伴い、自転車運転中の携帯電話等の「ながら運転」が新たに禁止され罰則対象に! 「酒気帯び運転」も罰則が整備され自動車の違反と同じとなった。自転車=公道を走る車両の一つ。

☆自動車運転免許証の更新忘れが発生しました。本校では、今年更新の先生は全員、新しい免許

証の写しを提出していただきありがとうございました。これから免許更新になる先生は引き続き忘れずに更新に向いてください。その後の写しの提出もよろしくお願いします。

☆パスワード管理には十分配慮(学期末の成績処理 係からも発信)をお願いします。

☆児童の体育授業でのケガが増える時期…跳び箱・マット運動・ボール運動・おにごっこ 県に27件あがっている。準備体操・寒さ対策など念入りに行って学期末を迎えましょう。

### (2) 教職員情報があれば校長までお知らせください

・12月現在、小学校教員免許取得者で上田市内で3学期から担任ができる方、を複数名探しています。保護者・地域にも呼び掛けて探しています。

【長小学校】学校給食員(会計年度任用職員/育休代替)1名の応募があり面接などの準備に入っています!

### (3) 校長研修より

☆真田支会より(菅平小中学校の授業)4年生の「算数・音楽」全15時間 自由進度学習について見学させていただきました。15時間分の単元を構築するのは子ども自身。立体(展開図など)・クラシック鑑賞学習。全職員で展開図やプリント・立体物を作成し、15時間分の学習を作りあげてあった。多少の違和感があったが、子どもたちは自分なりに学習し追究していた様子がうかがえた。これからは、そういう時代か。2人(専科と担任)の先生が関わりICTも豊富に取り入れて推進。「展開図がたくさんある中、2つだけ直方体にならないものをさがす」などの知的好奇心をくすぐる問題を掲示したり、見てさわって考える問題があったりしていた。「あと一つだけ立方体になる展開図がある。それをさがしてみよう」など進む進度や学ぶ深さが個人によって違ってよく、子ども達は前向きに学習していた。

本校でも来年に向けて「自己発揮」⇒次のステップに向けて模索している時期です。12月3日の6年生の授業を受けて(私がいなくて申し訳ありませんでした)3学期の各授業⇒来年度の研究へとつなげていきたい。自己発揮できる土壌から子どもたちのどんな力の育成につなげていくか?「思考力判断力表現力探究力課題発見力振り返り力」の育成。そのためには、教師の出、課題設定の在り方、板書の在り方、振り返りの在り方、グループ追究の在り方など来年度も焦点を絞って研究推進していきたい。

☆全日本小中校高校徳島大会「神山まるごと高専…新しい教育」…未完成のβ版を!あらゆる角度から検証し想像を超える教育 VUCA(ブーカ)の時代(先行き不透明 予測困難)を生きる力とは?

「適切な情報収集活用力」・「迅速な意思決定力」・「臨機応変な課題対応力」を身につけられる学習

失敗をおそれる子・失敗するからやらない子を育てていません。失敗してもいいからやる子、失敗した後に「今度は、こんなふうに違う方法でやってみよう」と思える経験を増やして育てます。そこから次に生かせる力が身についていくのです。私たち大人の役目はどんな子どもであっても安心できる場所をつくり、子どもが自分らしく成長する力をつけていくことではないのでしょうか?

「やりたい」を全力で応援する高校。「雨に耐え、顔を上げる者だけが虹を見る」

「学校は失敗するところ」